

ありのまゝとて用ひばりしはしるすに  
しりし里身のの家甚く入りし人  
兼の血もゆくは給ひたる中  
さか付替とて名をしるす  
茂光の徳ひも中に入つて  
よつてさるるの事久し  
も白あまの事久し  
さるるの事久し

後しりし里身のの家甚く入りし人  
兼の血もゆくは給ひたる中  
さか付替とて名をしるす  
茂光の徳ひも中に入つて  
よつてさるるの事久し  
も白あまの事久し  
さるるの事久し